

◇ 事業報告

事業団総括事項

平成26年度においても、前年度に引き続き、新制度の枠組みの中でコンプライアンス意識をもち、ガバナンスの強化を心がけた法人運営を行った。

情報開示についても、ホームページ上での事業計画書・収支予算書及び事業報告書・決算書の公開をはじめ、事業団運営施設の利用状況等を役職員へ定期的に情報提供を行うなど、事業団内外への情報発信と透明性の確保に努めた。

また、平成26年度は、公益財団法人に移行して最初の事業年度に関する決算業務を行った。決算数値を基に、公益認定の要件である「収支相償」、「公益目的事業費率」、「遊休財産保有制限」について、それぞれ適合性を確認し、事業報告書、決算書類とともに関係書類を行政庁へ提出し、行政庁からの指摘等も無かった。

組織・体制面では、設置されて間もない衛生委員会を職員の健康維持や職場環境の改善といった観点から一年を通じて運営し、職員の意識向上を図った。

更には、永年勤続表彰実施のため要項を定め、勤続25年以上の職員5名に対し、永年勤続表彰を行った。

財務面では、ペイオフ対策の観点から、前年度に引き続き定期預金を複数金融機関に分散保有し、新たに国債を購入した。

以上のように、公益財団法人としての体制づくり、適正な法人運営を行いながら、各事業の運営に努めた結果、依然として風評被害の影響が残る中、プラザクアハウス・宿泊施設の赤字は大きいものの、収益事業の収益や東京電力㈱からの損害賠償金により、事業団全体としては7,926千円の黒字を計上することができた。

1 公益目的事業（社会福祉事業）

1. 総括事項

公益財団法人の核となる公益目的事業として、次の社会福祉事業を実施した。

○公の施設の指定管理業務

- ・老人福祉センター及び老人憩いの家
- ・児童館及び児童センター
- ・へき地保育所
- ・いわきサン・アビリティーズ
- ・いわき市健康・福祉プラザ

○いわき市からの委託事業

- ・いきいきデイクラブ事業
- ・ファミリー・サポート・センター事業
- ・いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業
- ・障害者相談支援事業

- ・転倒骨折予防教室事業
- 自主事業
 - ・温泉療法事業
 - ・いきいき健康教室事業

これら施設の管理運營業務並びに市の委託事業等の業務について、不特定多数の者の利益の増進に寄与することを求められる公益目的事業として、広く市民福祉の向上に寄与するべく効率的かつ円滑な運営、実施に努めた。

(1) 施設貸与事業 (表①-1～8参照)

①老人福祉センター及び老人憩いの家

高齢者の健康増進やレクリエーションの場である老人福祉センター及び老人憩いの家については、新規利用のサークルが加わる一方、高齢化等で利用を終えるサークルもあり、ほぼ前年度並みの利用件数であったが、勿来老人福祉センターについては、自家用車で来館する利用者の路上駐車等を禁じるなど駐車場所について強く働きかけたことが利用減の要因となった。結果として5施設合わせた利用状況は、前年度より21件増の3,642件であった。

②児童館及び児童センター

子どもの遊び場、子育て支援の拠点である児童館・児童センターについては、引き続き学童及び未就学児の親子の遊びの場、子育て支援の場として児童館事業の運営を行った。

小名浜児童センターでは、学童及び未就学児親子の利用ともに前年度並みの23,700人の利用であった。

植田児童館では、引き続き植田駅前の貸店舗で運営を行ったが、施設が狭小であることから、利用児童が多くなり過ぎないように児童の保護者に放課後児童クラブ等の利用をすすめるなど協力を求めた結果、学童の利用は前年度に比べ40%減少した。一方、未就学児の親子の利用については、乳児の親子を中心に利用が前年度比10%以上増加したが、植田児童館全体では前年度に比べ2,014人減の10,371人であった。

内郷児童館では、前年度に引き続き小学生の利用申し込みが増えたことで一日平均利用人数も前年度より約7人増え、学童の利用が15%増加した。また、未就学児の親子の利用についても赤ちゃんサロンの開催回数を増やした成果もあり前年度比10%余り増加し、内郷児童館全体では前年度に比べ6,548人増の32,016人であった。

また、児童館での子育て支援に関する主要な事業であり、子育て中の保護者の相談への対応や、保護者同士の交流の場を設けることを目的とした地域子育て支援拠点事業(表①-2参照)については、事業開始から5年目となり児童館の事業として定着してきたことや、子育て支援員を2名体制にしたこと(小名浜は1名)により、その利用は全体で前年度比15%増の4,609組の利用となった。特に子育てに関する相談は、子育て支援

員が増えたことで、相談等を抱える保護者への対応機会を増やすことができたと考えられ、その件数は大幅に増加した。

一方、緊急雇用創出事業の児童館ボランティア指導員配置事業（表①-3参照）については、植田児童館、内郷児童館で、年度当初ボランティア指導員を確保できなかったことから、新たなボランティアの増員を図ることができず、既存のボランティアによる活動にとどまったため、全体としてボランティアの延活動人数等は減少することとなった。三館合わせたボランティアの活動実績は前年度比 163 人減の延べ 439 人であった。

③へき地保育所

三和町永井地区と川前町桶売地区にいわき市で設置している二つのへき地保育所の指定管理者として、施設近郊で暮らす幼児の保育業務を実施した。また、保育所運営の一環として、運動会や発表会を実施するとともに、アクアマリンふくしまへの遠足、地元敬老会や高齢者施設への慰問など園外活動にも取り組んだ。

利用状況は、永井では在籍児童が 9 人から 10 人、桶売では 5 人から 6 人と年度途中からではあるが 1 人ずつ増えたため、延べ利用者数は、前年度に比べ永井 192 人増、桶売 67 人増となり、二施設合わせた延べ利用児童数は 259 人増の 3,449 人であった。

④いわきサン・アビリティーズ（障がい者教養文化体育施設）（表①-4参照）

障がい者のスポーツや趣味・教養の場であるいわきサン・アビリティーズについては、体育館や研修室等を障がい者や一般利用者の利用に供するとともに、車いすバスケットやスルーネットピンポンなど障がい者スポーツの競技会等を前年度と同様 16 回開催した。施設の利用状況は、障がい者の利用が 13,016 人、一般利用者の利用が 34,726 人で、全体としては前年度より 249 人増の 47,742 人と前年度並みの利用状況であった。

⑤いわき市健康・福祉プラザ

ア 温泉利用型健康増進施設（クアハウス）（表①-5参照）。

クアハウスでは、誰でも手軽に健康増進が図れる施設として、平成 26 年度も引き続き、温水プールやトレーニングルーム、各種温浴施設の利用を提供することにより、生活習慣病の予防に貢献するなど利用者が日々を健康に過ごすための支援を行った。

本年度は、館内のテレビで衛星放送の視聴を可能にし、また経年劣化したプールのコースロープを新調するなど、利用者のサービス及び利便性の向上を図った。

利用者数については、ビジター、宿泊者のクアハウス利用、回数券、入場券等の利用者が前年度比 884 人減の 35,898 人であったが、年間利用券利用者は前年度より 6,462 人増の 303,081 人となり合計で 338,979 人であった。

これは、前年度を 5,578 人上回る開業以来最高利用者数となり、3 年連続で利用者数を更新する人数であった。

一方で、年間会員の人数は前年度から微減していることから、増要因としては、年間会員の健康志向の高まりにより、会員の利用頻度が増加したことによるものと考えられる。

イ 宿泊施設（表①－6～8参照）

宿泊研修施設についても、クアハウスと同様に公益目的事業として、広く多くの方たちに利用していただけるよう、低廉な料金で気軽に温泉保養が楽しめる施設を提供した。

平成26年度は、利用者から好評の低廉な宿泊パックを3期に分けほぼ通年で実施し集客増を図ったことにより、いわき市内をはじめとする福島県内の利用者は増加したものの、いまだに東京電力(株)の原発事故による風評被害等の影響が大きく関東方面の利用者が前年度比233人減少し、平成26年度の利用者は前年度比28人減の8,904人であった。

風評被害が依然として続いていることに加え、高齢化しているリピーターに代わる新規の利用者が少なかったことも要因の一つと考えられる。

また、3期（4月から7月、9月から12月、1月から3月）に分けて、ほぼ通年で実施した低廉な宿泊パックの実績は、パック利用者3,929人（1期870人、2期1,703人、3期1,356人）であり、実施期間中のパック利用率は71.9%であった。

温泉利用型健康増進施設（クアハウス）と宿泊施設を合わせた施設事業収入は、158,553千円であり、支出は、206,596千円となり、差し引き48,043千円の赤字であった。

ウ 浴室付大広間

いわき市から受託している浴室付き大広間については、誰でも手軽に温泉を楽しめる施設として提供した。利用実績については、前年度比109人減の16,053人とほぼ前年度並みであった。

エ 研修施設

同じくいわき市からの受託している研修施設については、地域社会の健全な発展のために各種団体などに会議や研修の場として提供した。

利用実績については、前年度比83時間減の3,179時間とほぼ前年度並みであった。

(2) いわき市からの受託事業

①いきいきデイクラブ事業（表②参照）

高齢者の社会的孤立感の解消、自立生活の助長などを主な目的とするいきいきデイクラブ事業については、老人福祉センター及び老人憩いの家を主な会場として、生きがい等につながる教養講座や高齢者向けスポーツ及び趣味の活動など各種講座等を企画、開催した。

参加者の要望も聞きながら新たな講座も加え、ほぼ計画通り実施し、481件開催の延利用者7,667人と前年度並みの実施状況であった。

② ファミリー・サポート・センター事業（表③参照）

共働き世帯などの子育てを支援するファミリー・サポート・センター事業については、育児を援助する会員と依頼する会員を募集し、子育て援助活動の斡旋を行う事業として

実施した。援助活動の斡旋に加え、事業の周知と会員登録及び協力会員のスキルアップのための研修会や会員の親睦を深める交流会等の企画運営を行った。

平成 26 年度は、全会員に対して活動継続意志について確認し、整理作業を行った結果、総会員数は前年度より 75 人減の 780 人となった。また、支援活動については、放課後の学童に対するサポートなどを主な活動として実施され、その件数は前年度比 150 件減の 1,971 件であった。

③ いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業 (表④参照)

地域福祉推進を図る目的で実施するいわき・ふれあい・ふくし塾運営事業については、市民を対象に福祉に関する講義や福祉施設等でのボランティア活動を企画運営した。

平成 26 年度は、実施時期が例年と異なり、年度後半にずれたことなどにより、申し込み者数が 47 人とどまったこと、講義の開催回数が 8 回から 6 回に変更したことから延べ参加者は前年度より 188 人減少し、256 人であった。

④ 障害者相談支援事業 (表⑤参照)

在宅の障がい者の自立と社会参加の促進を目的として実施する障害者相談支援事業は、福島県の指定事業者としていわき市障害者生活介護センターを拠点に、電話や面談、訪問などによる相談に応じ、必要な情報提供や助言、障がい福祉サービスの利用支援などを実施した。

また、障がい者が障がい福祉サービスを受ける際に必要となるサービス利用計画の作成について、その依頼(計画相談)は引き続き増加し、従来の相談支援利用者からの計画相談も増加した。

その結果、計画相談は前年度より 175 件増加し、従来の相談支援件数は 156 件減少した。支援件数全体では 886 件であった。(計画相談の件数は相談回数にかかわらず計画作成数 1 つにつき 1 件と計上)

⑤ 転倒骨折予防教室事業 (表⑥参照)

要支援・要介護状態になるおそれのある高齢者を対象として、介護予防を図るために実施する転倒骨折予防教室事業は、健康・福祉プラザを実施会場にして高齢者の運動機能の向上を目指した運動プログラムを高齢者に指導するなどして実施した。

平成 26 年度は、いわき市から 1 コース(12 回)を受託し実施した。今年度から参加定員が増えたため参加者数は 13 人となり、延べ 129 人の利用であった。

(3) 自主事業

① 温泉療法事業 (表⑦参照)

温泉利用型健康増進施設である健康・福祉プラザにおいて実施する温泉療法事業については、利用について具体的な相談が無く、温泉療法の実施には至らなかった。

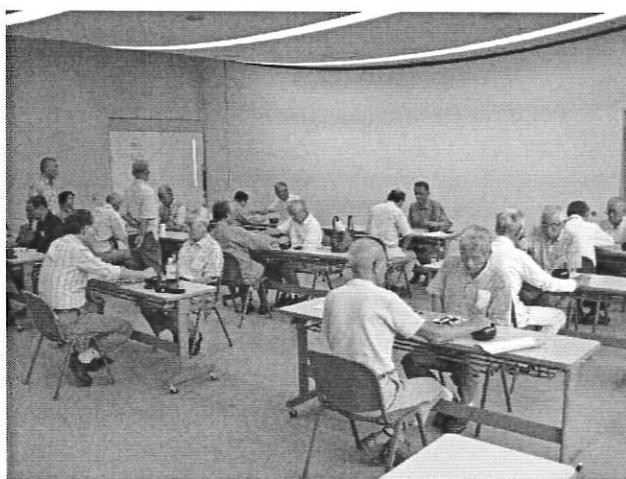
② いきいき健康教室事業 (表⑧参照)

健康・福祉プラザを会場に、地域住民の健康増進に寄与するため、「シェイプアップコース」「水中運動コース」「シルバーコース」の3コースを実施した。

開催数は、前年度比1期増の8期開催で、利用者数も前年度より56人増の延628人であった。

【公益目的事業の様子】

老人福祉センター・老人憩いの家



第8回老人福祉センター交流囲碁大会

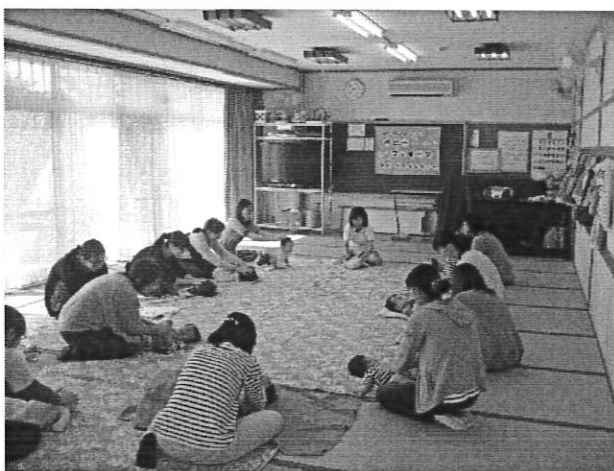
児童厚生施設 (児童館)



児童館で過ごす小学生の様子 (内郷)



幼児教室（警察署見学）【植田】



地域子育て支援拠点事業【小名浜】

へき地保育所

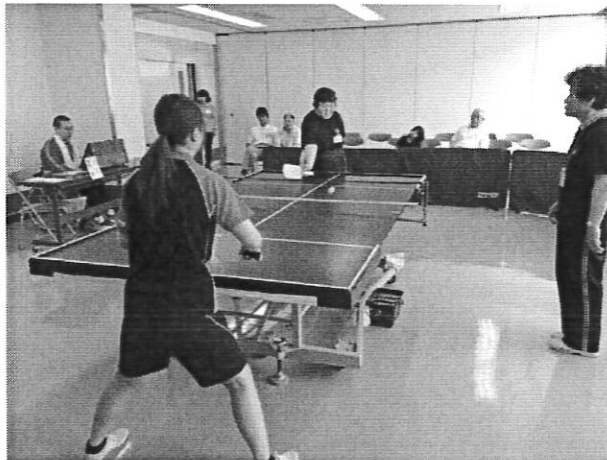


永井保育所入所式



市長桶売保育所視察

いわきサン・アビリティーズ

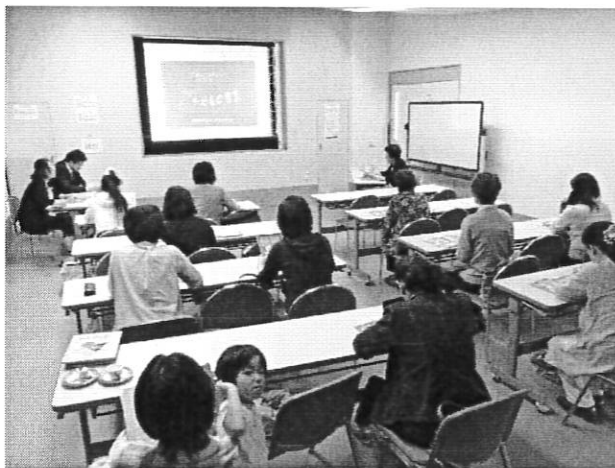


スルーネットピンポン大会



車いすバスケット大会

ファミリー・サポート・センター

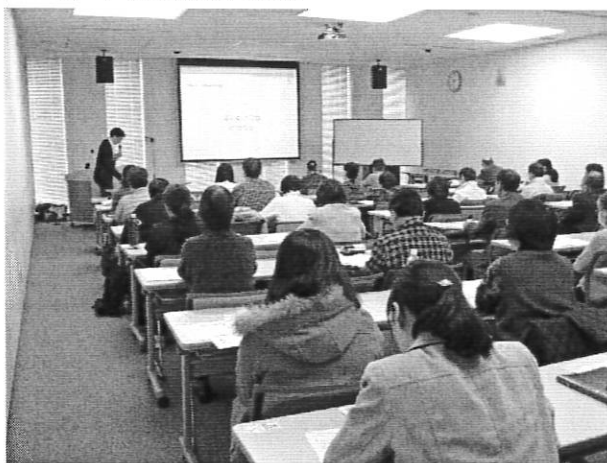


フォローアップ研修会



交流会（レクリエーション）

いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業



第6回講義の様子

①-1 施設貸与事業(各施設の利用状況)

	施設名	平成26年度①	平成25年度②	比較 ①-②	平成22年度
老人施設	平老人福祉センター	695 ^件	732 ^件	△ 37 ^件	522 ^件
	小名浜老人憩いの家	821	818	3	718
	勿来老人福祉センター	553	641	△ 88	583
	内郷老人福祉センター	655	616	39	483
	四倉老人福祉センター	918	814	104	499
	件数計	3,642	3,621	21	2,805
児童厚生施設	小名浜児童センター	23,700 ^人	24,547 ^人	△ 847 ^人	20,094 ^人
	(※内小学生)	(10,774)	(11,130)	△ 356	(10,721)
	(※内プール利用者)	(2,128)	(1,811)	317	(1,824)
	(※地域活動推進事業)	(1,308)	(1,284)	24	(894)
	植田児童館	10,371	12,385	△ 2,014	14,946
	(※内小学生)	(4,421)	(7,393)	△ 2,972	(3,292)
	(※内プール利用者)	(0)	(0)	0	(3,174)
	(※地域活動推進事業)	(744)	(477)	267	(1,107)
	内郷児童館	32,016	25,468	6,548	17,159
	(※内小学生)	(13,015)	(11,289)	1,726	(4,540)
	(※内プール利用者)	(3,592)	(2,221)	1,371	(3,645)
	(※地域活動推進事業)	(1,349)	(1,361)	△ 12	(710)
	人数計	66,087	62,400	3,687	52,199
	(※内小学生)	(28,210)	(29,812)	△ 1,602	(18,553)
(※内プール利用者)	(5,720)	(4,032)	1,688	(8,643)	
(※地域活動推進事業)	(3,401)	(3,122)	279	(2,711)	
保育所	永井保育所	2,039 ^人	1,847 ^人	192 ^人	2,988 ^人
	桶売保育所	1,410	1,343	67	2,034
	人数計	3,449	3,190	259	5,022
いわきサン・アビリティーズ		47,742 ^人	47,493 ^人	249 ^人	41,992 ^人
健康・福祉プラザ	健康増進施設	338,979 ^人	333,401 ^人	5,578 ^人	269,670 ^人
	(※年間利用券利用)	(303,081)	(296,619)	6,462	(235,357)
	宿泊施設	8,904	8,932	△ 28	10,885
	浴室付大広間	16,053 ^人	16,162 ^人	△ 109 ^人	14,086 ^人
	研修施設	3,179 ^{時間}	3,262 ^{時間}	△ 83 ^{時間}	2,411 ^{時間}

①-2 地域子育て支援拠点事業の実施状況

		平成26年度①	平成25年度②	比較 ①-②	平成22年度
小名浜	利用親子	1,476組	1,639組	△ 163組	1,328組
	相談件数	453件	406件	47件	272件
植田	利用親子	1,012組	783組	229組	855組
	相談件数	1,081件	474件	607件	337件
内郷	利用親子	2,121組	1,567組	554組	818組
	相談件数	410件	206件	204件	213件
合計	利用親子	4,609組	3,989組	620組	3,001組
	相談件数	1,944件	1,086件	858件	822件

①-3 児童館ボランティア指導員配置事業の実施状況

		平成26年度①	平成25年度②	比較 ①-②	平成22年度
小名浜	延活動人数	189人	189人	0人	55人
	延活動時間	202時間	208時間	△ 6時間	135時間
植田	延活動人数	114人	199人	△ 85人	120人
	延活動時間	258時間	608時間	△ 350時間	285時間
内郷	延活動人数	136人	214人	△ 78人	192人
	延活動時間	198時間	289時間	△ 91時間	297時間
合計	延活動人数	439人	602人	△ 163人	367人
	延活動時間	658時間	1,105時間	△ 447時間	717時間

※各登録ボランティア人数

()内は前年の人数 小名浜：19人(15) 植田：11人(34) 内郷：4人(13)

①-4 いわきサン・アビリティーズ主催事業実施状況

大会・事業名	参加人数	大会・事業名	参加人数
卓球大会	10	教養講座作品展示会	10
車いすテニス大会	4	ブラインドテニス大会	25
ボッチャ交流会	24	フライングディスク大会	25
スルーネットピンポン大会	13	オセロ大会	6
スポーツレクリエーション交流会	27	風船バレー交流会	20
車いすバスケット大会	49	バスケット大会	26
サウンド・テーブル・テニス大会	18	アーチェリー競技会	1
スポーツレクリエーション交流会	19	ショートテニス大会	8

①-5 健康増進施設の利用状況

(単位 人)

区分		利用人数			構成比	前年度 ②	比較 ① - ②	平成 22年度
		男性	女性	合計①				
ビ ジ タ ー	高齢者	3,362	3,888	7,250	2.1%	8,116	△ 866	6,278
	障がい者	410	303	713	0.2%	842	△ 129	686
	一般利用(大人)	2,756	1,778	4,534	1.3%	4,552	△ 18	4,197
	〃 (小人)	795	679	1,474	0.4%	1,761	△ 287	1,423
	〃 (夜間)	3,054	1,609	4,663	1.4%	4,302	361	3,934
小計		10,377	8,257	18,634	5.5%	19,573	△ 939	16,518
年間利用券利用		166,242	136,839	303,081	89.4%	296,619	6,462	235,357
宿 泊 者	高齢者等	109	179	288	0.1%	517	△ 229	499
	一般利用(大人)	160	174	334	0.1%	369	△ 35	521
	〃 (小人)	35	32	67	0.0%	167	△ 100	159
	小計	304	385	689	0.2%	1,053	△ 364	1,179
回 数 券	高齢者等	1,075	924	1,999	0.6%	2,273	△ 274	1,554
	一般利用(大人)	503	559	1,062	0.3%	883	179	1,050
	〃 (小人)	12	22	34	0.0%	30	4	133
	小計	1,590	1,505	3,095	0.9%	3,186	△ 91	2,737
入場券利用		4,089	6,688	10,777	3.2%	10,615	162	10,681
その他利用		1,092	1,611	2,703	0.8%	2,355	348	3,198
合計		183,694	155,285	338,979	100.0%	333,401	5,578	269,670

①-6 宿泊施設の利用状況

(単位 人)

区 分		利用人数			構成比	前年度 ②	比 較 ①-②	平成22年度
		男性	女性	合計①				
宿 泊 施 設	高齢者・障がい者	2,150	3,585	5,735	64.4%	5,960	△ 225	7,512
	障害者(小人)	1	0	1	0.0%	9	△ 8	14
	一般利用(大人)	1,490	1,316	2,806	31.5%	2,589	217	2,773
	〃 (小人)	170	192	362	4.1%	374	△ 12	586
合計		3,811	5,093	8,904	100.0%	8,932	△ 28	10,885

①-7 宿泊施設の稼働状況

(単位 %)

	平成26年度①	平成25年度②	比較① - ②	平成22年度
部屋稼働率	67.6	65.5	2.1	79.3
定員稼働率	50.8	51.0	△ 0.2	62.1

①-8 宿泊者の地域別利用

(単位 人)

区 分		平成26年度 ①	構成比	平成25年度 ②	比 較 ①-②	平成22年度
地 域 別	いわき市内	3,934	44.2%	3,815	119	3,954
	福島県(いわき市を除く)	2,295	25.8%	2,266	29	869
	関東	2,285	25.6%	2,518	△ 233	5,239
	北海道・東北(福島を除く)	285	3.2%	207	78	613
	上記以外	105	1.2%	126	△ 21	210
	合 計	8,904	100.0%	8,932	△ 28	10,885

② いきいきデイクラブ事業の実施状況

	平成26年度①		平成25年度②		比較 ①-②		平成22年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
教養講座(健康・ 生きがい関係)	137	2,477	115	2,161	22	316	148	3,111
高齢者スポーツ活 動	256	4,049	247	3,898	9	151	181	2,851
手芸・絵画等趣味 の活動	35	469	50	706	△ 15	△ 237	75	1,032
その他(創作・会 食・奉仕活動)	53	672	47	599	6	73	34	409
合 計	481	7,667	459	7,364	22	303	438	7,403

③ ファミリー・サポート・センター事業の実施状況

	平成26年度①		平成25年度②		比較 ①-②		平成22年度	
依 頼 会 員 数	443		452		△ 9		541	
協 力 会 員 数	269		326		△ 57		313	
両 方 会 員 数	68		77		△ 9		108	
計	780		855		△ 75		962	
支 援 活 動 件 数	1,971		2,121		△ 150		2,613	
基 本 研 修 会	6回	92人	3回	43人	3回	49人	3回	65人
フ ォ ロ ー ア ッ プ 研 修 会	3回	53人	6回	79人	△3回	△26人	6回	100人

※平成26年度から研修会の対象者を協力・両方会員とし、実施方法を見直す

④ いわき・ふれあい・ふくし塾運営事業の実施状況

	平成26年度①		平成25年度②		比較 ①-②		平成22年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
塾生・卒業生数	47人	39人	85人	60人	△38人	△21人	80人	57人
講義実施状況	6回	218人	7回	370人	△1回	△152人	9回	420人
課外活動実施状況	7回	38人	9回	74人	△2回	△36人	13回	93人
計	13回	256人	16回	444人	△3回	△188人	22回	513人

⑤ 障害者相談支援事業の実施状況

	平成26年度①		平成25年度②		比較 ①-②		平成22年度		
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	
登録者人数		62人		106人		△44人		113人	
支援件数	障がい者福祉サービス等の利用援助		170件		259件		△89件		363件
	社会資源活用のための支援		281		376		△95		136
	社会訓練プログラム等		159		129		30		361
	専門機関の紹介		0		1		△1		0
	その他		0		1		△1		29
	計画相談		276		101		175		0
	合計		886件		867件		19件		889件

⑥ 転倒骨折予防教室事業の実施状況

	平成26年度①			平成25年度②			比較 ①-②			平成22年度		
	受託回数	参加者数	延人数	受託回数	参加者数	延人数	受託回数	参加者数	延人数	受託回数	参加者数	延人数
参加状況	12回	13人	129人	12回	10人	115人	0回	3人	14人	36回	26人	265人

⑦ 温泉療法事業の実施状況

(単位 人)

	平成26年度①	平成25年度②	比較①-②	平成22年度
相談・問合せ件数	0	2	△2	1
温泉療法実施者	0	0	0	1

⑧ いきいき健康教室事業

(単位 人)

	平成26年度①	平成25年度②	比較①-②	平成22年度
シルバーコース	174	179	△5	233
シェイプアップコース	187	152	35	111
水中運動コース	267	241	26	275
合計	628	572	56	619

2 収益事業（介護事業）

1. 総括事項

平成 26 年度は、収益事業として、健康・福祉プラザにおいて指定通所介護事業と指定居宅介護支援事業を実施し、障害者生活介護センターにおいて障害者生活介護事業を実施した。いずれの事業においても、在宅で暮らす要介護者の自立的な生活を支援し、市民福祉の向上に寄与するという事業団の目的を果たしてきた。

またこれらの介護事業は、事業団の安定的な運営のために財務面で重要な役割を担うことから、事業運営の効率化を図り収益の確保に努めた。

通所介護事業所においては、前年度同様在宅で暮らす要介護・要支援の高齢者を対象にデイサービス事業を実施した。

居宅介護支援事業所においては、介護サービスの利用を希望する世帯を訪問し、地域の介護サービス情報提供を行い、利用者のサービス選択の利便を図ったケアプラン作成に努めた。

障害者生活介護センターにおいては、前年度同様に在宅で暮らす障がい者を対象に通所による生活介護サービスの提供を行い、家族の介護負担軽減と障がい者の地域生活支援を実施した。

これら収益事業（介護事業）の収入は、雑収益を含めて 124,775 千円であった。一方支出は、101,690 千円となり、差し引き 23,085 千円の黒字であった。

(1) 通所介護事業（表①－1～2 参照）

指定通所介護事業所では、利用者拡大のため、周辺居宅介護支援事業所や包括支援センターなどに働きかけを行うとともに、利用者一人一人の要望、目的にあった個別のサービスを提供した。また、年度半ばから看護師を正規職員として採用したことや、送迎ルートを見直し、現利用者に複数回利用の促進を図ったことなどにより、利用者は前年度比 168 人増の 5,730 人であった。

その結果、収入は 45,359 千円、支出は 38,368 千円となり、差し引き 6,991 千円の黒字であった。

(2) 居宅介護支援事業（表② 参照）

居宅介護支援事業は、前年度同様、通所介護事業の業務と兼務しながらのケアプラン作成業務となったが、可能な限り新規利用者を受け入れ、平成 26 年度の件数は、前年度比 16 件増の総数 320 件であった。

その結果、収入は 3,020 千円、支出は 3,235 千円となり、差し引き 215 千円の赤字であった。

(3) 障害者生活介護センター（表③－1～2 参照）

障害者生活介護センターでは、新規利用者の登録に関して、前年度同様、家庭環境・家庭介護力・介護負担状況を勘案し、より緊急性のある対象者を優先しながら可能な限り新規利用者の受け入れを行うとともに、現利用者に複数回利用の促進を

図った。

また、年度半ばから介護職員として正規職員1名を採用したことや、積極的に新規利用者の受け入れを図ったことなどにより、利用者数は前年度から492人増えて8,336人であった。

その結果、収入は75,638千円、支出は60,087千円となり、差し引き15,551千円の黒字であった。

【収益事業の様子】

障害者生活介護センター



紅葉狩りドライブ



クリスマス会

①-1 通所介護事業利用状況

	平成26年度①	平成25年度②	比較①-②	平成22年度
(1)年度末利用登録者数 (人)	56	57	△ 1	60
(2)年度開所日数 (日)	300	305	△ 5	291
(3)年間利用予定者数 (人)	4,481	4,392	89	4,180
(4)年間延利用者数 (人)	4,173	4,000	173	3,856
(5)年間利用率 (%)	93.1%	91.1%	0.0	92.2%
(6)1日当たり平均利用者数 (人)	13.9	13.1	0.8	13.3

①-2 通所介護事業(介護予防)利用状況

	平成26年度①	平成25年度②	比較①-②	平成22年度
(1)年度末利用登録者数 (人)	19	27	△ 8	26
(2)年度開所日数 (日)	300	305	△ 5	291
(3)年間利用予定者数 (人)	1,748	1,799	△ 51	2,042
(4)年間延利用者数 (人)	1,557	1,562	△ 5	1,845
(5)年間利用率 (%)	89.0%	86.8%	△ 2.0	90.4%
(6)1日当たり平均利用者数 (人)	5.2	5.1	0.1	6.3

② 居宅介護支援事業:ケアプラン作成件数

(単位 件)

区分	平成26年度①	構成比	平成25年度②	比較①-②	平成22年度
要支援 1	6	1.88%	1	5	14
要支援 2	73	22.81%	84	△ 11	33
要介護 1	38	11.88%	63	△ 25	32
要介護 2	94	29.38%	55	39	108
要介護 3	68	21.25%	56	12	31
要介護 4	32	10.00%	42	△ 10	82
要介護 5	9	2.81%	3	6	22
合計	320	100.0%	304	16	322

③-1 障害者生活介護センター利用状況

(単位 人)

障害程度区分	平成26年度①	構成比	平成25年度②	比較①-②	平成22年度
区分 2	1,099	13.18%	777	322	1,029
区分 3	2,081	24.96%	1,890	191	1,638
区分 4	2,003	24.03%	1,810	193	1,603
区分 5	1,526	18.31%	1,462	64	665
区分 6	1,627	19.52%	1,905	△ 278	1,402
合計	8,336	100.0%	7,844	492	6,337

③-2 障害者生活介護センター 登録者動静

(単位 人)

新規契約	契約解除	利用回数		区分変更	
		増	減	重	軽
11	7	7	12	3	1

3 評議員会・理事会報告事項

日時	出席	議案番号	件名
第4回 評議員会 26.4.16 開催	評議員 4名 理事 2名 監事 1名	第1号	公益財団法人いわき市社会福祉施設事業団 評議員の選任について
		第2号	公益財団法人いわき市社会福祉施設事業団 理事の選任について
		議案第1号、第2号、いずれも議決	
第93回 理事会 26.4.16 開催	理事 6名 監事 1名	第1号	副理事長（業務執行理事）の選定について
		議案第1号、議決	
第94回 理事会 26.5.26 開催	理事 7名 監事 2名	報告 第1号	理事長・副理事長・専務理事の職務の執行状 況について
		第1号	平成25年度公益財団法人いわき市社会福祉 施設事業団事業報告及び決算について
			※平成25年度決算審査については、平成26 年5月22日に実施
		第2号	第5回評議員会の招集の決定について
議案第1号、第2号、いずれも議決			
第5回 評議員会 26.6.24 開催	評議員 4名 理事 3名 監事 2名	報告 第1号	平成25年度公益財団法人いわき市社会福祉 施設事業団事業報告について
		第1号	平成25年度公益財団法人いわき市社会福祉 施設事業団決算について
		議案第1号、議決	

日時	出席	議案番号	件名
第95回 理事会 27.1.14 開催	理事 7名 監事 2名	第1号	公益財団法人いわき市社会福祉施設事業団 給与規程改正について
		第2号	平成26年度収支補正予算について
		議案第1号、第2号、いずれも議決	
第96回 理事会 27.3.23	理事 7名 監事 2名	報告 第1号	平成26年度施設等利用者数見込及び収支決 算見込について
		報告 第2号	理事長・副理事長・専務理事の職務の執行状 況について
		第1号	公益財団法人いわき市社会福祉施設事業団 給与規程の改正について
		第2号	平成27年度事業計画について
		第3号	平成27年度収支予算について
		第4号	平成27年度資金調達及び設備投資の見込み について
		第5号	理事及び監事選任のための評議員会の招集 について
		第6号	事務局長（重要な使用人）の任命について
		議案第1号から第6号まで、いずれも議決	

※ 平成26年4月7日 決議の省略による理事会決議
「第4回評議員会招集の決定について」

4 役員の変動事項

氏名	役職名	発生年月日	理由	備考
園部 義博	評議員	26.4.16	就任	26.4.25 登記
遠藤 喜一	副理事長	26.4.16	就任	26.4.25 登記
前田 直樹	理事長	27.3.31	辞任	27.4.23 登記
愛川 邦彦	専務理事	27.3.31	辞任	27.4.23 登記
佐山 充	監事	27.3.31	辞任	27.4.23 登記

5 職員数に関する事項

(単位 人)

施設等名	事務局 局長	次 長	副 館長	施 設 長	主 任	事 務 職 員	児 童 厚 生 員	保 育 士	体 育 指 導 員	看 護 師	介 護 支 援 専 門 員	生 活 相 談 員	指 導 員	嘱 託 職 員	臨 時 雇 用	合 計	
事務局	1	1			1	1										4	
平老人福祉センター				(1)										1		1 (1)	
小名浜老人憩いの家				(1)											1	1 (1)	
勿来老人福祉センター				(1)											1	1 (1)	
内郷老人福祉センター				(1)											1	1 (1)	
四倉老人福祉センター				(1)											1	1 (1)	
小名浜児童センター				1			1							1	2	5	
植田児童館				1			2								3	6	
内郷児童館				1			1							1	3	6	
永井保育所				(1)				1						1		2 (1)	
桶売保育所				(1)				1						1		2 (1)	
いわきサン・アビリティーズ				(1)	1									1	2	4 (1)	
ファミリー・サポート・センター				(1)		1									1	2 (1)	
健康・福祉プラザ	総務					2								1		3	
	健康増進 宿泊研修	(1)				1	3		3						2	9 (1)	
	通所介護 居宅介護支援				(1)	1				1	1	2			4	9 (1)	
障害者生活介護センター				1	1	2				2	1		1		7	15	
計	1	(1)	1	0	4(10)	5	9	4	2	3	3	2	2	1	7	28	72 (11)

()は兼務職員。臨時雇用にはパート雇用も含む。

平成27年3月31日現在